

IV. 全学的観点からみた回答の傾向（大学）

1. 2009（平成 21）年度の全体的傾向

2009（平成 21）年度授業評価アンケート集計結果を全学的に分析した結果として、以下の点をあげることができる。

- 1) 「授業のテーマの明確さ」について、「評価帯グラフ」にあるように、本学の学生の 9 割以上が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた。また 4 点満点における平均値も 3.5 であったことから、授業のテーマの明確さは高く評価されていると言える。
- 2) 「教員の授業への熱意・情熱」についても、「評価帯グラフ」によると、9 割以上の学生が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた。また 4 点満点における平均値も 3.5 であったことから、教員の授業への熱意・情熱は高く評価されていると言える。
- 3) 一方、「予習／復習の時間」について、4 点満点のうち平均値が 1.9 であった（「1」は 0 時間、「2」は 1 時間未満を示す）ことから、学生は予習・復習の時間を十分にとっていないことが懸念される。

2. 2009（平成 21）年度アンケート項目別全学的回答傾向（大学）

次に、2009（平成 21）年度の、それぞれの質問項目について、全学的回答傾向をまとめて以下に報告する。

1) 教員（授業）について

① 授業のテーマは、はっきりしていた

全学（大学）の前期・後期の平均は、3.5 であった。この項目で一番高かったのは「英語英文学科」「人間文化学科」「その他の資格科目」の 3.6 で、一番低かったのは「共通教育」前期の 3.4 であった。

② 授業の内容を理解できた

全学（大学）の前期・後期の平均は 3.3 であった。この項目で一番高かったのは「英語英文学科」、「その他の資格科目」前期の 3.4 で、一番低かったのは「共通教育」「心理学部」「生活福祉文化学部」前期の 3.2 であった。

③ 授業内容に興味・関心をもてた

全学（大学）の前期・後期の平均は 3.3 であった。この項目で 1 番高かったのは「その他の資格科目」前期の 3.5 で、1 番低かったのは「共通教育」前期の 3.2 であった。

④ この授業からよい刺激を受け、自分の考えが広がってきたようだ

全学（大学）の前期・後期の平均は 3.2 であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」、「人間文化学科」「その他の資格科目」の 3.4 で、最も低かったのは「共通教育」の 3.1 であった。

⑤ この授業では、学習に集中することができた

全学（大学）の前期・後期の平均は 3.3 であった。この項目ではばらつきがなく、それぞれのカテゴリーにおける平均が 3.3 であった。

⑥ 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は適切であった

全学(大学)の前期・後期の平均は3.4であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」、「人間文化学科」、「その他の資格科目」の3.5で、最も低かったのは「共通教育」の3.3であった。

⑦ 成績評価の仕方が明確に示されていた

全学(大学)の前期・後期の平均は3.3であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」と「人間文化学科」の3.4であった。またこの項目で最も低かったのは「共通教育」と「心理学部」の3.2であった。

⑧ 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかった

全学(大学)の前期・後期の平均は3.4であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」、「人間文化学科」、「その他の資格科目」の3.5で、最も低かったのは「共通教育」の3.3であった。

⑨ 教員のプレゼンテーション(板書・パワーポイント・CDプレーヤーなど)は適切であった

全学(大学)の前期・後期の平均は3.3であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」の3.5で、2番目に高かったのは「人間文化学科」と「共通教育」の3.4であった。

⑩ 教員は、学生の質問や相談に適切に対応した

全学(大学)の前期・後期の平均は3.4であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」、「人間文化学科」、「その他の資格科目」の3.5であった。またこの項目で最も低かったのは「共通教育」「心理学部」の3.3であった。

⑪ 教員の授業への取り組みに、熱意や情熱を感じた

全学(大学)の前期・後期の平均は3.5であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」、「人間文化学科」、「その他の資格科目」の3.6であった。またこの項目で最も低かったのは「共通教育」と「心理学部」の3.4であった。

⑫ 教員は学生の反応や理解を見ながら授業を進めた

全学(大学)の前期・後期の平均は3.3であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」と「その他の資格科目」の3.5で、2番目に高かったのは「人間文化学科」と「生活福祉文化学部」の3.4であった。またこの項目で最も低かったのは「共通教育」の3.2であった。

⑬ 私はこの授業に満足した

全学(大学)の前期・後期の平均は3.3であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」の3.5で、2番目に高かったのは「人間文化学科」、「生活福祉文化学部」、「その他の資格科目」の3.4であった。またこの項目で最も低かったのは「共通教育」の3.2であった。

2) あなたについて

⑭ 私は履修科目を選ぶ際にシラバスをよく読んだ

全学（大学）の前期・後期の平均は2.9であった。この項目で最も高かったのは「人間文化学科」の3.3で、2番目に高かったのは「英語英文学科」と「その他の資格科目」の3.0であった。またこの項目で最も低かったのは「心理学部」の2.8であった。

⑮ 授業中は意欲的・積極的に取り組んだ

全学（大学）の前期・後期の平均は3.2であった。この項目で最も高かったのは「英語英文学科」の3.4で、2番目に高かったのは「人間文化学科」と「その他の資格科目」の3.3であった。

⑯ この授業のために、平均何時間程度、予習／復習や準備をしましたか。

〔基準：1回につき、4（2時間以上）、3（1～2時間）、2（1時間未満）、1（0時間）〕

この項目の全学（大学）前期・後期の平均は1.9で、学生が授業の予習／復習や準備を最もしているのは平均が2.1の「英語英文学科」であり、2番目は平均が2.0の「人間文化学科」であった。この項目で最も低かったのは「共通教育」で平均は1.7であった。

⑰ この授業で、何回欠席しましたか。

〔基準：4（0回）、3（1回）、2（2～3回）、1（4回以上）〕

この項目の全学（大学）前期・後期の平均は3.2で、出席率の得点が最も高かったのは平均3.4の「その他の資格科目」で、2番目に高かったのは平均3.3の「心理学部」であった。また出席率の最も低かったのは平均3.0の「英語英文学科」であった。

⑱ この授業への出席状況や受講態度から考えて、この授業を公正に評価する資格があなたにあると思いますか。

この項目の全学（大学）前期・後期の平均は3.2で、この項目の平均値が1番高かったのは平均3.4の「その他の資格科目」で、2番目に高かったのは平均3.3の「英語英文学科」、「人間文化学科」であった。なお、対象授業科目に登録をしている学生全員が、その授業を公正に評価する資格があるとする意見が出たため、この項目に関して次年度に向けて本委員会でも再検討することとなった。

以上が各項目の傾向である。なお、昨年2008（平成20年）度までのアンケート用紙は5件法で回答を得ていたが、今年2009（平成21年）度より4件法に変更したため、今年度は、昨年度との比較をすることはできない。来年度から再び前年度との比較が可能になる。

担当：桐野 由美子（生活福祉文化学部教授）